

株式会社 クリエイト SD ホールディングス



2015年5月期 決算説明会
2015年7月17日

本資料に掲載しております業績予想は現時点における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって予想と実際の業績が異なる可能性がございます。あらかじめ御承知おきくださいますようお願い申し上げます。
お問い合わせ先 経営企画部: 笠井・田村 (TEL 045-914-8241)

2015年5月期 決算説明会

■2015年5月期連結実績

1. 損益計算書
2. 貸借対照表
3. キャッシュフロー計算書
4. ROEと配当

■事業会社の実績

1. 損益計算書
2. 出店
3. 部門別実績
4. 売上高
5. 売上総利益率
6. 調剤部門
7. 販管費
8. 介護関連事業

■成長戦略

1. クリエイトエス・ディーの成長戦略
2. 介護関連事業
3. 中期ビジョン
4. 2016年5月期の計画

2015年5月期 連結実績

1. 2015年5月期のPL(連結)

	2014.5期 実績 (連結)		2015.5期 実績 (連結)			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	197,483	100.0	213,918	100.0	108.3	98.9
売上総利益	52,004	26.3	57,516	26.9	110.6	99.8
販売管理費	42,997	21.8	46,787	21.9	108.8	98.7
営業利益	9,006	4.6	10,728	5.0	119.1	104.7
経常利益	9,470	4.8	10,982	5.1	116.0	104.6
当期純利益	5,779	2.9	6,561	3.1	113.5	107.6

2. 2015年5月期のBS(連結)

(単位:百万円)

主な増減要因

	2014.5期末 (連結)	2015.5期末 (連結)	増減
資 産 合 計	81,140	88,767	+7,626
流 動 資 産	46,889	51,512	+4,623
固 定 資 産	34,250	37,253	+3,003
負 債 合 計	36,015	42,807	+6,791
流 動 負 債	33,850	39,384	+5,533
固 定 負 債	2,164	3,422	+1,258
純資産合計	45,125	45,960	+834
負債・純資産 合 計	81,140	88,767	+7,626

資産合計

- ・現預金及び売掛金 1,900百万円増加
- ・商品 1,664百万円増加
- ・新店の出店等による 固定資産 3,003百万円増加

負債合計

- ・買掛金 2,944百万円増加
- ・未払法人税等 1,048百万円増加
- ・資産除去債務 1,115百万円増加

純資産合計

- ・自己株式の取得 ▲4,392百万円
- ・配当金支払い 1,300百万円
- ・当期純利益 6,561百万円計上

3. 2015年5月期のCF(連結)

(単位:百万円)

主な内訳

	2014.5期 (連結)	2015.5期 (連結)	増減
営業活動による キャッシュフロー	7,249	11,811	+4,561
投資活動による キャッシュフロー	▲6,281	▲4,975	+1,305
財務活動による キャッシュフロー	▲1,417	▲5,901	▲4,484
現金及び現金同 等物の増加額	▲449	933	+1,382
現金及び現金同 等物期首残高	19,785	19,335	▲449
現金及び現金同 等物の期末残高	19,335	20,268	+933

・税引前当期純利益 10,537百万円
・減価償却費 3,139百万円
・法人税等支払額 ▲3,566百万円

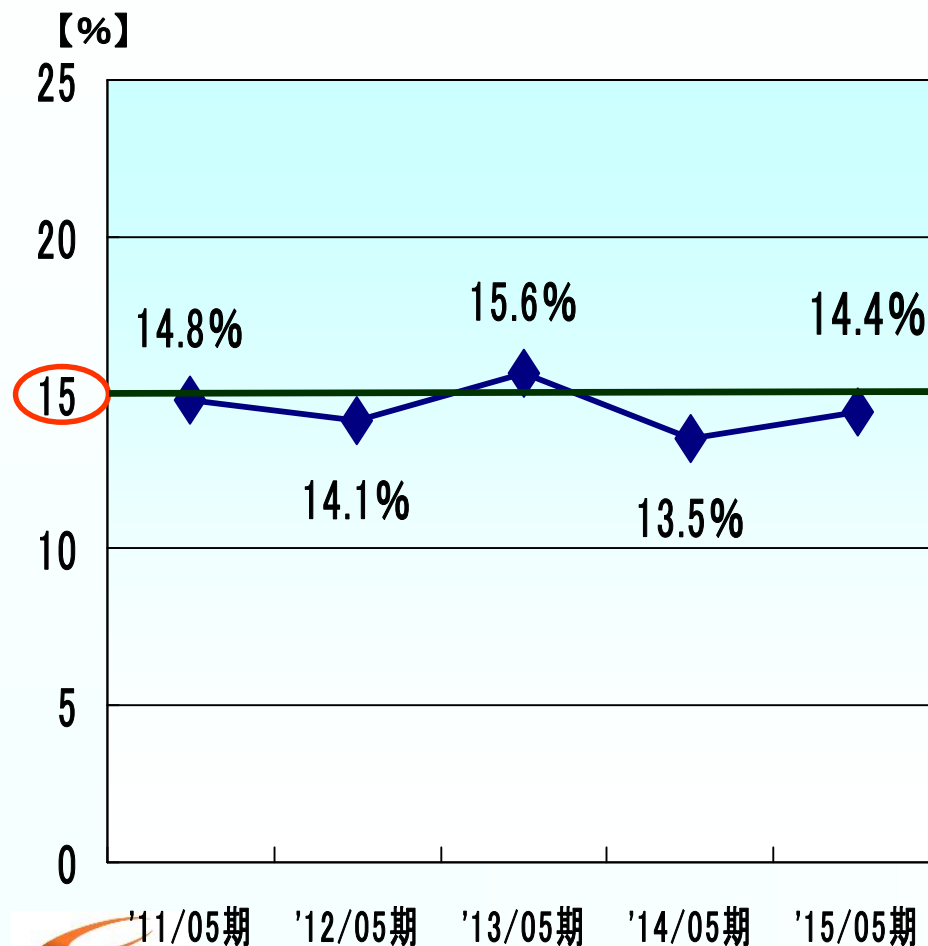
・出店・改装による有形固定資産の
取得 ▲3,694百万円
・建設協力金貸付 ▲1,042百万円
・出店仮勘定 ▲466百万円

・配当金 ▲1,300百万円
・自己株式の取得 ▲4,392百万円

4. ROEと配当の推移

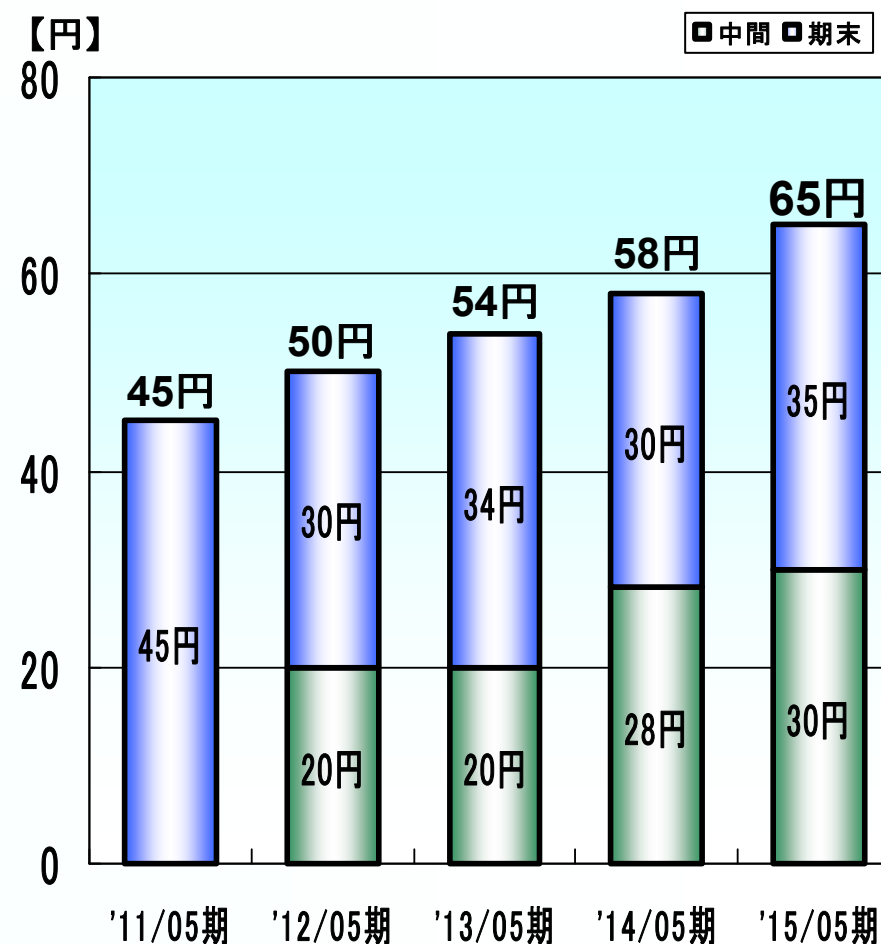
ROE 15%以上を志向

ROEの推移



安定的・持続的な増配

1株当たり配当金の推移



事業会社の実績

1. 2015年5月期のPL(クリエイトエス・ディー)

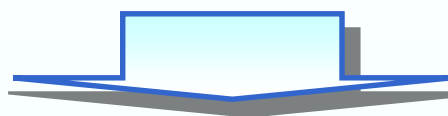
	2014.5期 実績		2015.5期 実績			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
売 上 高	195,841	100.0	212,274	100.0	108.4	98.9
売 上 総 利 益	51,908	26.5	57,476	27.1	110.7	99.8
販 売 管 理 費	43,406	22.2	47,358	22.3	109.1	98.7
営 業 利 益	8,501	4.3	10,118	4.8	119.0	104.9
経 常 利 益	8,887	4.5	10,366	4.9	116.6	104.8
当 期 純 利 益	5,440	2.8	6,256	2.9	115.0	108.7

2. 出店

新店 OTC**34**店舗 調剤薬局**26**店舗 (併設薬局21店舗・専門薬局5店舗)

地域別出店状況

		神奈川	東京	静岡	千葉	愛知	その他	合計
2015.5期 累計 出店数	O T C	13	6	5	4	5	1	34
	併設薬局	15	4	0	0	1	1	21
	専門薬局	3	1	0	0	1	0	5



退店

スクラップ&ビルド **3**店舗 契約満了 **1**店舗 経営効率化 **3**店舗

		神奈川	東京	静岡	千葉	愛知	その他	合計
2015.5期 期末 店舗数	O T C	246	77	64	23	9	27	446
	併設薬局	66	20	12	1	5	5	109
	併設率	26.8%	26.0%	18.8%	4.3%	55.6%	18.5%	24.4%
	専門薬局	17	8	0	3	1	1	30

3. 部門別実績

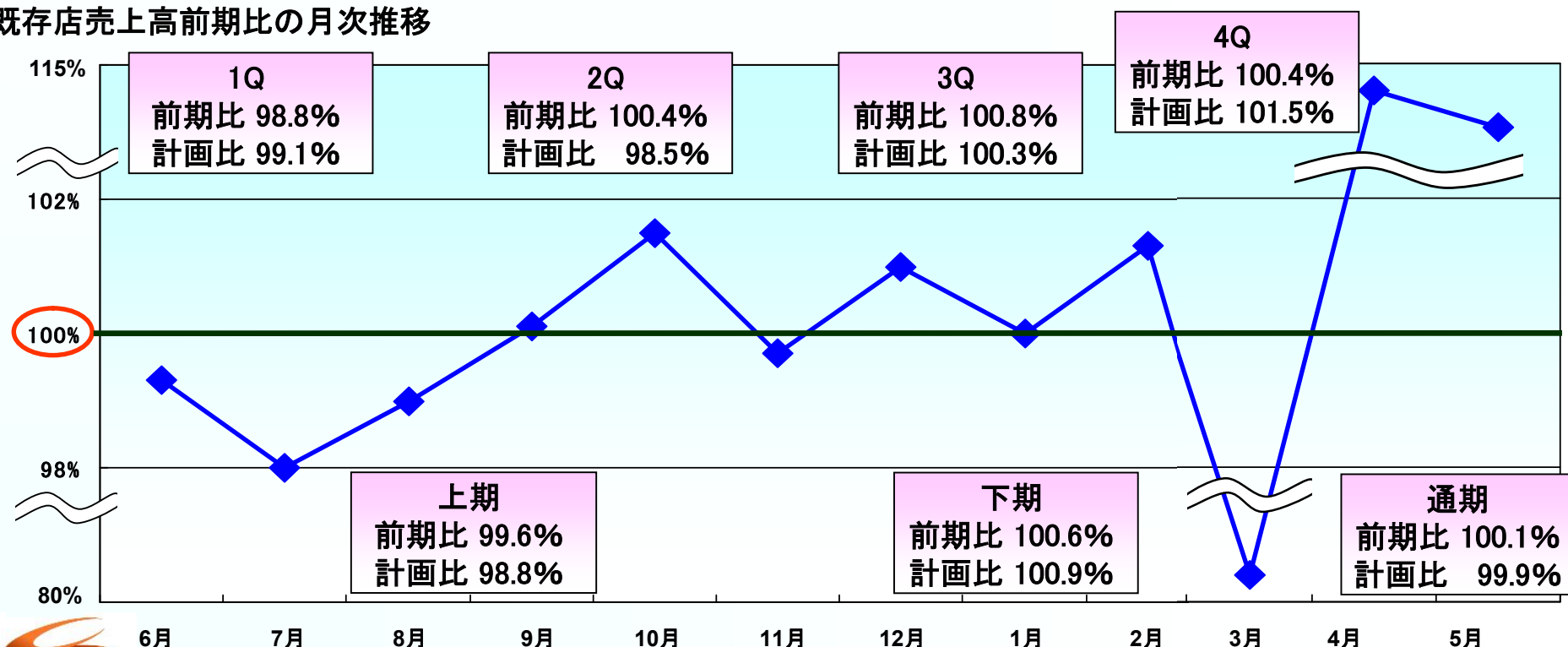
	2014.5期 実績			2015.5期 実績		
	売上高 ＜百万円＞	構成比 (%)	前期比 (%)	売上高 ＜百万円＞	構成比 (%)	前期比 (%)
医薬品	44,629	22.8	108.4	49,309	23.2	110.5
O T C	34,170	17.5	103.7	35,522	16.7	104.0
調剤	10,458	5.3	127.1	13,787	6.5	131.8
化粧品	31,094	15.9	106.0	31,780	15.0	102.2
食料品	72,334	36.9	110.5	80,886	38.1	111.8
日用雑貨品	35,689	18.2	107.8	37,505	17.7	105.1
その他	12,093	6.2	104.0	12,793	6.0	105.8
合計	195,841	100.0	108.4	212,274	100.0	108.4

4. 売上高

前期比 108.4% 計画比 98.9% 既存店前期比 100.1%

- ・トップラインは前期からの出店により 8%増を維持
- ・出店計画未達及び増税影響が2Qまで延びたことで計画は未達
- ・調剤併設の推進と改装及び品揃え改善により既存店を活性化

既存店売上高前期比の月次推移



4. 売上高

調剤併設の推進

専門性の向上として推進している調剤の売上高は増税の影響を受けずに好調を維持

調剤薬局の併設 ⇒ **21店舗実施** 調剤既存店前期比 **118.3%**

既存店の改装

- ・調剤薬局の併設
- ・売上構成に合わせた売場構成の変更
- ・利便性を高める品揃えの追加として精肉の導入拡大
オペレーション確立により売上・荒利も取れるカテゴリーに成長

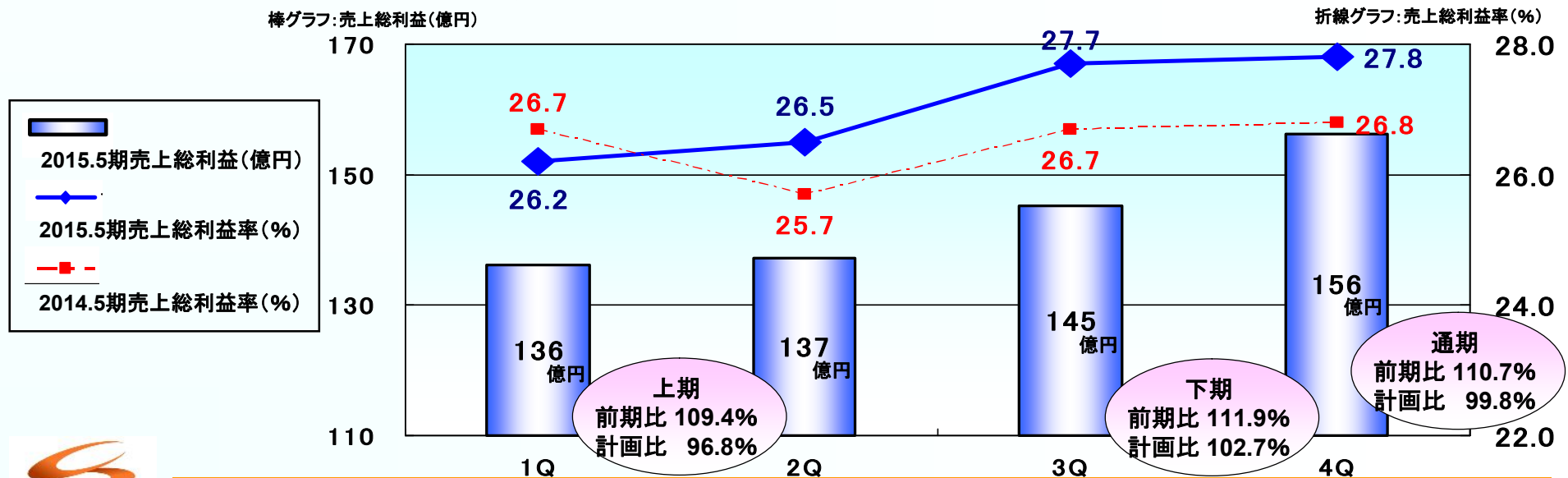
既存店の改装 ⇒ **66店舗実施** 精肉取り扱い ⇒ **期末 237店舗**

5. 売上総利益率

売上総利益率 27.1% 前期差 +0.6pt 計画差 +0.3pt

- ・上期はH&Bを中心に増税特需の反動が残り押し下げ要因に
- ・下期は反動から回復するとともに風邪の流行や花粉の飛散増により、OTC医薬品及び調剤が売上総利益率を押し上げた
- ・チラシ販促からEDLPへの変更、核カテゴリー商品の展開強化、調剤部門の伸長により売上総利益率を改善

売上総利益・売上総利益率の四半期推移



5. 売上総利益率

クリエイト
エス・ディー

EDLPの推進

チラシでの一時的特売ではなく、**単品ごとのEDLP**により小商圏において安さの訴求をしつつ売上総利益減を抑制

商品施策

低価格品の大量陳列に偏らず、ドラッグストアの核カテゴリー商材をしっかりと見せることで、売価を上げることなく**荒利ミックス**により売上総利益率を改善

調剤推進

成長性の高い**調剤部門を拡大**してきたことで、調剤部門の売上構成比が高まり、全体の売上総利益率が改善

6. 調剤部門

クリエイト
エス・ディー

	2015.5期 実績		
	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	13,787	100.0	131.8
売上総利益	5,605	40.7	135.2

- ・後発医薬品の使用促進
使用率は **60.7%** (数量ベース)
- ・基準薬局化を推進
期末 **56薬局** (前期差 **+21薬局**)
- ・介護施設との連携強化
訪問服薬指導 **68施設** で実施
(前期差 **+9施設**)

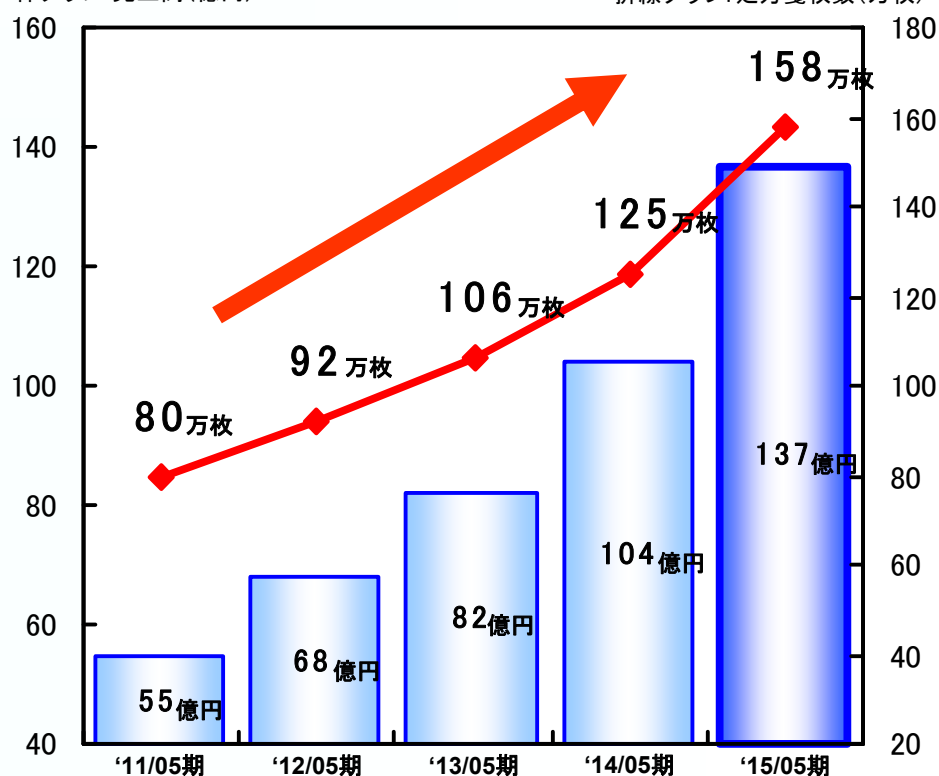
既存店前期比

売上高 **118.3%**
処方箋枚数 **112.6%**

調剤部門の売上高・処方箋枚数推移

棒グラフ: 売上高 (億円)

折線グラフ: 処方箋枚数 (万枚)



7. 販管費

クリエイト
エス・ディー

販管費率 22.3% 前期差 +0.1pt 計画差 ▲0.1pt

人件費、建築費、電気代等 様々なコスト増要因に対し、販管費の上昇を最小限に抑え、必要な投資とコスト削減のバランスをとった

広告宣伝費

販促方法の見直しにより店舗増に対して前期よりも経費を抑制

水道光熱費

前期に引き続き、1Qに店内照明のLED化を実施するとともに電力会社の変更、店舗での節電対策により電気使用量を抑制

建築費

建築資材や建築労務費の高騰に対して、店舗の仕様見直しや競争入札により建築コストの上昇を抑制

8. 介護関連事業

ウェルライフ
サロンデイ

有料老人ホーム事業

- ・営業強化による入居率の改善
⇒ 期末入居率 **75.0%** (前期差 **+11.4pt**)
- ・施設内の設備や備品の改修による環境整備

デイサービス事業

- ・マッサージ型デイサービスの「サロンデイリフレ」の展開
介護保険法改正による要介護者の割合増への対応
- ・デイサービス施設 **7施設**開設→**41施設**体制へ
うち機能訓練型 38施設、マッサージ型 **3施設**
ドラッグストア併設 10施設、単独 31施設
介護支援センターは 2施設を展開

成長戦略

1. クリエイトエス・ディーの成長戦略

新規出店

ドラッグストア **40店舗**

- ・神奈川を中心に関東・東海エリアに出店
- ・都市型小型店舗の業態開発
- ・大型店への新たな品揃えの追加

調剤薬局 併設薬局 **10店舗**・専門薬局 **5店舗**

- ・医療機関と連携した収益性の高い併設薬局を出店
- ・総合病院前やクリニックモールへの出店

期末店舗数

OTC **483店舗**(うち併設薬局 **118店舗**)

専門薬局 **34店舗**

1. クリエイトエス・ディーの成長戦略

既存店改装

改装による既存店の活性化 ⇒ **35店舗**

- ・調剤の併設、売場構成の改善、精肉の導入を継続
- ・**都市型店舗のMD改善**

サービスの強化

店舗を補完するサービス機能の強化

〈**EC・特注・宅配を1つの組織に集約**〉

- ・取り寄せはH&Bを中心とした店舗補完型サービス
- ・買上商品の配達は有料化をすることにより本当に必要な人を対象に実施
- ・宅配では薬と併せ、医療品・日用品を施設へ配送

1. クリエイトエス・ディーの成長戦略

利益の創出

- ・小商圏でのEDLPにより価格訴求を継続し、利益商品の発掘により荒利ミックスで利益を確保する
- ・店舗規模や立地タイプ、地域性を考慮

楽しい雑貨の導入

買い物に楽しさを加える生活雑貨の導入により、売上総利益率を落とさずに新たな顧客を開拓する

新しい販促の導入

スマホ対応アプリやカタリナマーケティングの導入

1. クリエイトエス・ディーの成長戦略

ローコスト・生産性向上の取り組み

自動発注を軸にサプライチェーン全体を効率化

- ・発注・納品量の平準化による物流効率化
- ・店舗運営の作業削減、人員配置見直しにより生産性向上

調剤薬局

- ・ドミナントしているOTC店舗に薬局併設を推進することで、早期にかかりつけ薬局化を実現
- ・人材の育成・教育として個人に合わせた育成計画の作成、研修内容の充実
- ・コンプライアンスを遵守した運営

2. 介護関連事業

有料老人ホーム事業

安心・快適な住環境の提供と入居者増

- ・定評のある食事の提供やペットとの同居可能な部屋の設置といった**特色ある施設運営**
- ・ホームページや施設見学会を通じた**営業活動の強化**

デイサービス事業

既存施設の収益力改善に注力

- ・10人定員制から16人定員制への転換 **10施設**

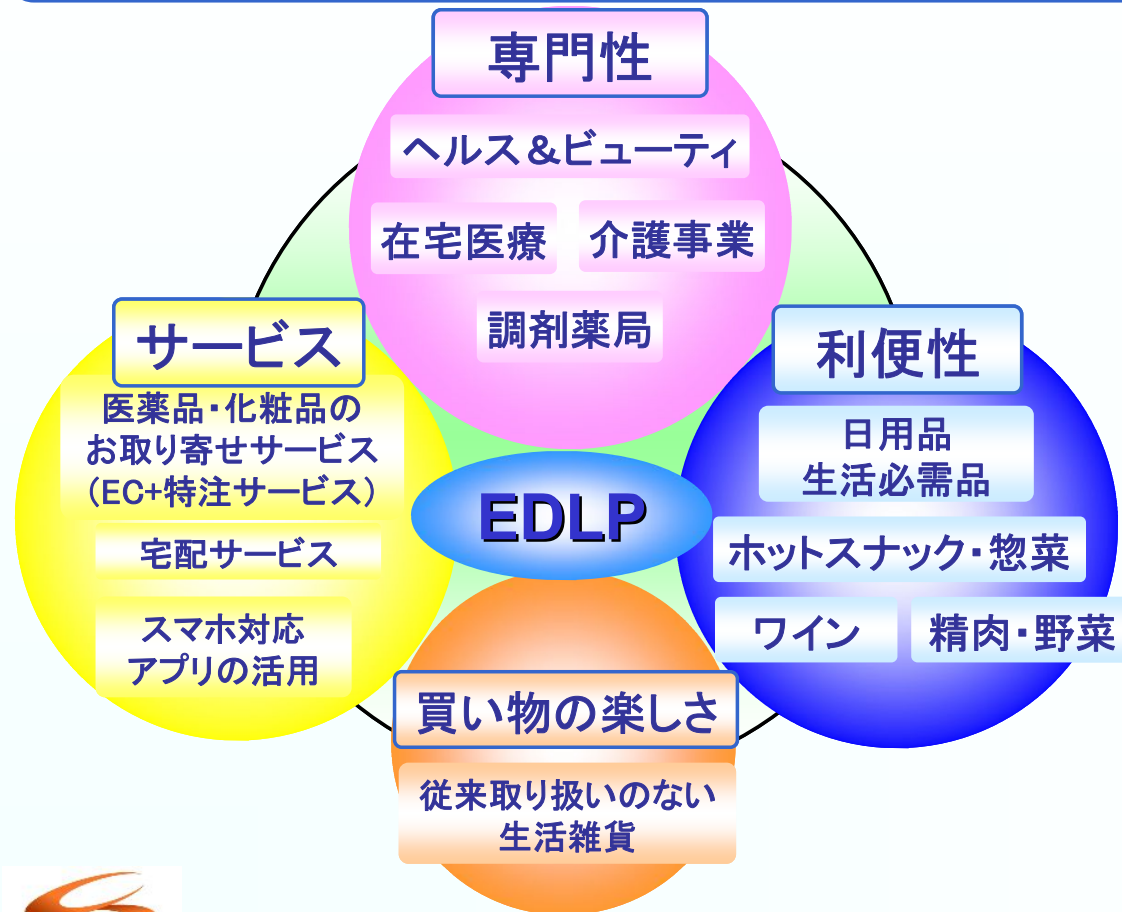


期末施設数 **42施設**

うち、16人定員施設 **18施設**、10人定員施設 **24施設**

3. 中期ビジョン

急速に加速する高齢社会を見据え、「専門性」と「利便性」の強化に加えて、各種の「サービス」や「買い物の楽しさ」を提供する小商圏・高来店頻度事業モデルを推進



中期目標

ROE

15%以上

営業利益率

6%以上

店舗数

600店舗

調剤売上構成

10%以上

4.2016年5月期の計画(連結)

ROE 14.4%

	2015.5期(連結実績)		2016.5期(連結計画)		
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	213,918	100.0	227,300	100.0	106.3
売上総利益	57,516	26.9	61,000	26.8	106.1
販売管理費	46,787	21.9	49,860	21.9	106.6
営業利益	10,728	5.0	11,140	4.9	103.8
経常利益	10,982	5.1	11,400	5.0	103.8
当期純利益	6,561	3.1	7,030	3.1	107.1

監査等委員会設置会社に移行し社外取締役 2名体制に